

大人数でのボランティア活動

愛島東部自治会 春まつり

五月十六日、愛島東部仮設住宅にて、自治会春まつりがあり、私たちは、たい焼き、玉こんに、ストラックアウト、輪投げ、その他、お店の手伝いを行ないました。春まつりに参加したボランティアの人数は約五〇人。大人数での活動となりました。



春まつり

今回で二度目のボランティア活動でしたが、前回のバスツアーのときとは違い、不完全燃焼の部分が多いと感じました。住民さんと交流することがあまりできなかったのが残念でした。前回のバスツアーのときに、話をしてくださった方々にも声をかけることができず、積極的に挨拶をしに行くことができなかったよかったです。

それとは反対に、玉こんにの仕込みや後片付けなど、裏方の仕事を率先して手伝うことができたのは良かったと思います。

今回の活動では、もっと交流に力を入れ、自分から積極的に仕事を探し、状況を見て動きたいです。今回の反省を活かし、また、先輩の背中を見て学び、次回からの活動をよりよいものにしていきたいと思っています。

(人間心理学科一年 谷川千晶)

2015年度
第3号

二〇一五年
六月十九日
発行

私は、今回の企画のまとめ役として参加しました。具体的に何をやるかから中心メンバーと話し合い、当日までの流れや、当日のメンバーの割り振りなど、とてもやりがいがあり、真剣だったと思います。お祭り当日は準備不足などもありましたが、参加者が多くいたので上手くカバーしあえたと思います。たい焼きを配ったり、ダンスを踊ったりなど仮設の方々との交流も印象深かったです。

(人間心理学科二年 山川竜輝)

活動を通して、私が印象に残ったのは、ストラックアウトや輪投げなど通して、住人の方と交流をする一年生の姿です。

名前も知らない初対面の方に積極的に話しかけていくことができたと、という事実には自信を持って次回からも頑張っていきたいと思えます。二年生の私としては反省すべき点が多くありました。

また、同じグループの一年生達も、今何をすればいいのか、しっかり仕事を割り振られていなかったりで、途中からグループすらも曖昧なものになってしまったようにも感じました。「自由に交流」とだけ言われて放り出されたにも関わらず、しっかり交流に向かってくれた一年生には頭が下がるばかりです。

今回は反省点を活かし、よりよくなりたいと考えた活動でした。

(人間心理学科二年 小川真世)



編集 後記

学校から家まで歩いて帰ろうと試みたある日のこと。突然の雷雨に襲われ、猛ダッシュで坂を下り、開始30分で余儀なく終了。天気予報をちゃんと確認しとけば……と反省しました。春まつりでも、反省点が出たようなので、この反省点を次回の活動に活かしてほしいと思います。(表現文化3年渋谷佳代)